

## 日本畜産学会 第107回大会



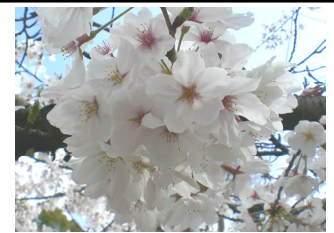
3月27日から30日にかけて神奈川の麻布大学で第107回日本畜産学会が開催されました。学会の開催場所を最初に聞いたときは麻布ということでもかなり都会なのではないかと期待していたのですが、お昼ごはんを食べる店を探すのに苦労するぐらい大学周辺は田舎でした…残念。さて、日本畜産学会は栄養、育種、管理、繁殖、畜産物利用など様々な分野の人が発表する非常に大きな学会です。今回の学会でこの研究室から発表した人は学会賞を受賞された広岡先生を始めとして長命さん、塚原さん、菊原君、西尾の5人でした。特に広岡先生は学会参加者のほとんどが集まる大会場での発表だったので、大変そうでしたね。学会では発表することが大きな目的ですが、いろいろな人と知り合いになれる良い機会だと思います。特にこの学会では自分の分野の人はもちろん、他の分野の人とも交流することができたのではないのでしょうか。ということで、今回学会に参加したメンバーから感想などを聞いてみました。(西尾)

大石: 今回の畜産学会では発表はしませんが、初日の草地学会との合同シンポジウムから、育種研究会に山羊研究会、最終日の応用動物行動学会・家畜管理学会合同シンポジウムまで、一通り全部出席してみました。総評として、ありとあらゆる分野の発表があるので、普段は触れない分野の研究を知る新鮮さがありました。学会賞を受賞された広岡先生と一般研究発表を行なった4人の学生さん、発表お疲れ様でした。また、以前に研究室に在籍していた安松谷さんや荻野さんと再会できたのも良かったです。特に荻野さんには公私共にいろいろお世話になったため、久々の再会に嬉しく思いました。

長命: もっと懇親会で呑みたかったです。



(3ページに続く)



## 目次:

畜産資源学分野のこれ 2 までとこれから	
門出のお祝い	3
はくび会打ち上げ	3
わかってほしい～病気発 4 見～	
山羊到着	4
新4回生紹介	4
中東に行ってきました	5
お知らせ	6

あっという間に新年度を迎えました。2月の暖かさが嘘のように冷え込んだりする日もあって、体調管理には気をつけたいものです。3月は卒業式や修了式に加え、学会準備や山羊の実験もあって想定外の忙しさでした。卒業旅行や海外調査、学会参加と、研究室の外でも休む間がなかったですね。それぞれに頑張ったみなさん、お疲れ様でした。今年度も元気いっぱい研究室を盛り上げていきましょう！まずは、花見から…



## 日本畜産学会賞受賞!



今回の日本畜産学会で、広岡先生が学会賞を受賞されました。日本畜産学会の学会賞は、『畜産学の発展に関し顕著な業績をあげた正会員に授与』されるもので、1年にたった2件しか選出されない名誉ある賞です。会場の麻布大学百周年記念ホールで開催された受賞式のあと、広岡先生は「家畜生産と畜産環境問題に関する学際的システムアプローチ」というテーマで受賞講演をされました。大観衆の見守る中、先生は珍しく少し緊張された面持ちで発表されていたようでした。受賞に先立って、先生が「この賞は、僕が個人的に取ったものではなく、畜産資源研究室のみんなの功績だ」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。また「副賞が少し出たので研究室に還元したい」とお心遣いを下さっているので、受賞のお祝い会を開催する予定です。お楽しみに～

## 畜産資源学分野のこれまでとこれから

私が本畜産資源学分野に着任して5年と6ヵ月が経過しようとしている。昨年4月に助教として熊谷元先生を向かえ、今年の1月に大石風人君を助手として採用した。やっと、教授、准教授、助教の3人が揃ったこともあり、これまでの研究の概要と今後の展望について私の考えを述べたいと思う。

私が着任して早々に、当時東南アジア研究センターの特別研究員であった平田昌弘君（現・帯広畜産大学准教授）から、研究室の今後の方向について質問されたとき、私は「分からない」と答えた。その時のがっかりした平田君の顔をはっきり覚えている。しかし、当時の現状では学生数も少数で、しかも修士課程と4回生の学生しかおらず、私の考え方を理解できなかったため、将来の展望を描けるような状況ではなかった。また、京都大学のような優秀な学生を擁する大学では、学生たちの自主的な研究を伸ばし、それを研究室の方向とするほうがよいと考えた。

当初から考えていた畜産資源学の研究方針の原則は、第1に家畜生産を対象とした研究を行なう、第2に栄養学、育種学、生殖学など個別の研究分野にとらわれることなく、それらの個別研究分野を横断的に融合した学際的な研究を行なう、第3に産業や現場のニーズにあった研究を行なうことの3点であった。この3原則を念頭にこの5年間は研究教育に関わってきた。

この5年間を振り返ってみるとさまざまなことがあった。しかし、私なりにとにかく精一杯がんばってきたと自負している。また、学生諸君も私が期待する以上にがんばってくれたように思う。これまでの、私が主体的に指導して行った研究をあげると、当研究室に着任する以前から着手していた家畜による窒素の排泄量を予測するモデル開発は、小島君が引き継ぎ、乳牛のリンの排泄量を予測するモデルの開発とさまざまな栄養素の摂取量と排泄量に因果関係を調べる研究としてまとめて論文にしてくれた。この研究はその後、長命君（農学博士）が、品種や生理条件の相違を越えてウシ一般の窒素排泄量を予測する汎用的な一般式を作成した。また、長命君による乳牛の泌乳初期のエネルギーバランスに関する研究は、私が着任して以降の学生による国際学会誌に掲載された最初の論文としてわれわれの研究室の歴史に残るであろう。

田端君（日本学術振興会特別研究員）は、肉用牛と水稻の耕畜複合生産農家を対象に、聞き取り調査とサンプリング調査（化学分析）およびモデル分析の3手法を組み合わせて農家内の物質収支を調べる新しい研究手法を確立し、すでにいくつかの研究論文にまとめている。この研究は、私が以前にシミュレーションモデルを用いて行なった予備研究を大きく飛躍させたものである。シミュレーションモデルを用いるシステム論的アプローチは、Gradiz君が種子島の肉用牛とさとうきびの複合生産の問題に、安松谷さん（現食とみどりの技術センター研究員）が耕種作物と肉用肥育牛の複合生産一般の問題に、菊原君が飼料稲を用いた酪農生産の問題に応用している。多少、内容が異なるが、安松谷さんによる有機畜産に関する研究は文献研究であるにも関わらず、草地学会報に執筆を依頼され、近々論文として発表される予定である。

また、大石君、塚原さん、上原さんのグループによるヤギに関する統計育種的・システム論的研究は、今後研究室の一つの柱になり、同時に日本のヤギ研究の中心になればと密かに期待している。

2年前に畜産草地試験場主任研究員の荻野君が6ヵ月間国内留学制度を利用して本研究室で当時4回生であった折戸君とライフサイクルアセスメント(LCA)の肉用牛繁殖生産への応用に関する研究を行なった。荻野君のLCAに関する一連の研究は、最近、畜産環境評価の手法として農林水産省をはじめとして行政機関で評価が高まっている。また、昨年11月まで2年間、ケニアからKahi氏（農学博士）を向かえ、日本の肉牛に関する育種計画についての研究を行なってきた。この研究では、私の生産システムモデルから得た経済的重みづけ値を推定する研究を、育種計画の問題解決のための研究に発展させたものである。さらに、Kahi氏、揖斐君（安愚楽牧場・農学博士）と私で行なった黒毛和種の育種に関する研究の成果は、2つの論文として国際学会誌に掲載されている。またDiscounted gene flow法を遺伝子型のフローを考慮できるように拡張した西尾君の研究は、すでに国際学会誌の審査を受けて受理の方向で修正作業にとりかかっている。もし、この研究が世にできれば、畜産資源学分野の初代教授であった山田行雄教授の育種理論研究を引き継ぐものになるであろう（育種計画に関する研究は山田教授の念願でもあった）。

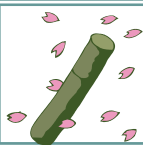
これらの研究は今振り返ってみると、いずれも最初に考えた研究の3原則に沿ったものであり、また私が目指したものであった。決して、学生諸君には研究課題を強制したことはないが、学生諸君が私の考えを理解し、さらに発展させてくれたと感謝している。この度、畜産学会賞という栄えある賞を授賞できたことは、私への賞と言うよりはむしろ畜産資源学分野の全員の研究が評価された結果と思っている。

今後の研究の方向性としては、熊谷先生が加わったことで、家畜を使った実験研究が実施され、ダイショや竹などの未利用飼料の飼料化に関する研究の成果が徐々に蓄積されてきている。今後、私の行なってきたシステム論的アプローチと熊谷先生の実験的アプローチが融合して、新しい研究部門に昇華できればと期待している。また、大石君の考えている放牧システムに関する研究は、彼のライフワークとして畜産資源学分野の一つの大きな柱になればと思っている。この研究は、日本における放牧生産の可能性を先見的に指摘されていた宮崎昭名誉教授の研究を引き継ぐものになればと望んでいる。

京都大学の社会的使命は、優秀な学生を育て研究者として世に輩出することだと考えている。今後も学生諸君が新しい分野にチャレンジしてくれて、一流の研究者として巣立ってくれることを切に望んでいる。

（広岡）





## 門出のお祝い～学位授与式・修了式・卒業式～

去る3月23日(金)に博士の学位授与式と修士の修了式、26日(月)には学部の卒業式がありました。畜産資源学研究室からは、学位授与式に長命さんが、修士の修了



式に上原幸さんが、卒業式に椎野君と竹内さんが出席しました。新しい門出にお祝い申し上げます。さて、こういう式典で注目を浴びるのは、なんとと言っても女の子

達♪上原さんも竹内さんも艶やかな振袖姿で、京美人の名を欲しい俤にした一日でしたね。卒業式と学会の日程が重なってしまって椎野君と竹内さんの晴姿を生で見られなかった



のが残念です。椎野君はフランケンシュタイン姿での式典参加だったという噂が…

これを期に研究室を巣立つ上原さんと、研究室でパワーアップをはかる皆さんの今後の更なる飛躍を祈念しています！

## はくび会打ち上げ

3月23日、修了式後に毎年恒例はくび会の総会と打ち上げがありました。総会のあと、平成18年度はくび会会長の久米先生のお話で打ち上げが始まり、続いて平成19年度はくび会会長の広岡先生が、乾杯の音頭をとられました。また、この場で動物遺伝育種研究の三宅先生が地域研究科学専攻助教授へご栄転されるというニュースも発表されました。その後は、はくび会お約束の宅配ピザを囲んで、卒業生と写真を撮ったり、おしゃべりしたり、呑んだり食べたり呑んだり…(笑)1次会終了後は、なぜか畜資の部屋へ場所を移して2次会に突入！夜遅くまで大きな笑い声が農学部中に響いていたとか…(苦笑)



はくび会卒業生の皆さん

## 日本畜産学会 第107回大会 (続き)



**菊原:** シュウカツの真っ只中に学会が入っていたので、あくせくあくせく大変でした。中日はシュウカツで東京へ、しかも終わってから次の日に最終面接があり、気持ちの落ち着かないまま、発表へ。発表のときは結構頭が真っ白でしたよ。(笑) 皆さんお疲れ様でした。

**西尾:** 今回の学会は個人的に就職活動とかぶっていて大変でした。内定出るかの瀬戸際だったので、学会での発表とは関係のないところでドキドキしていました(汗)。僕は理論の研究なので短い発表時間で研究内容が十分に理解してもらえるか心配でしたが、的確な質問をしてもらえたのでホッとしました。やはり普段ゼミで発表している雰囲気とは全然違って、緊張もしますが、いろいろな人に自分の発表を聞いてもらえるので楽しかったですね。さて、学会に来れば楽しみなのは観光と飲み会ですが、観光の方は忙しい人が多くて残念ながらあまり

遊べませんでした、残念。かろうじて横浜の中華街には行ってきましたが…。飲み会の方は山羊研究会の方々と一緒にさせていただき、とても楽しかったですね。ちなみにT原さんは3日連続飲み会だったそうです(恐るべし…)



**塚原:** 初めての畜産学会参加でしたが、大学時代の恩師や、いつもお世話になっている先生方に直接お会いすることができてとても楽しかったです。ちょっと同窓会のような雰囲気、会場の外ではおしゃべりが止まりませんでした。発表は育種部門と日本山羊研究会とで行いました。内容が余りうまく伝わらなかった部分もあって反省していますが、そのあたりを次の目標にしたいと思います。

## わかってほしい～病気発見～

山羊の病気については、これまでGOAT BULLETINの紙面上や、家畜改良センター白戸先生の『山羊の衛生管理』をゼミで紹介してきました。では、山羊が病気にかかっているかどうかを見分けるには、どうしたらいいのでしょうか？

ということで、今回は、山羊がどうやって病気のサインを出しているか、お話ししましょう。以前、動物病院の看護婦をしていたときに、人間の小児科の看護婦さんと「自分でここが痛いって言えない点では、幼児も動物も一緒だよ」ってよく話をしていました。どこがどう痛いのかは、管理者がわかってあげなければいけません。

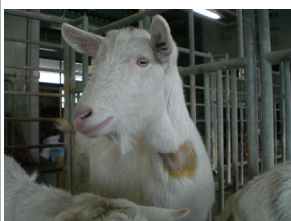
まず顔色です。顔色といっても、日本ザーネン種だったらとりあえず白いんですが、目に力がなかったり、顔がモアツと膨らんでいるのは、調子が悪い証拠です。餌をあげる時や、近づいた時の反応も重要なサインです。当番のときには、糞の状態をよく観察して下さい。「出物腫れ物」は体調を映す鏡です。ころころウンチがたくさんあれば、下部消化器系の問題はまずないと思っていいでしょう。もし全身が震えていたら、原因は3つしかありません。①寒い②痛い③恐いです。お腹が痛い時には、人間と同じで、お腹をかばうように背を丸めます。肢が痛い時には、当たり前ですが、肢を着かないように歩きます。この時よく

観察してもらいたいの、[着いて痛い]のか[着くのが痛い]のかです。それによって何処に問題があるのかを見分けます。肢を引きずっているのなら、問題は腰にあるのかもしれませんが。どこかを執拗に舐めるのは、かゆいか痛いか、とにかく違和感がある証拠です。よく「自然界の動物は傷を舐めて治す」と信じられていますが、傷を舐めて悪化させる場合の方が多そうです。みなさんも動物病院で襟巻きをした犬を見たことがあるかも知れませんね。これは傷口を舐めさせないための工夫です。出血していれば、血の色で表皮からの出血か深部からの出血かがある程度わかります。

いかがですか？山羊が出すサインのほんの一部をご紹介しました。見慣れないと少し難しいこともあります。山羊も人も同じ生き物です。自分に置き換えると山羊の気持ちにきつと近づけると思います。そして一番大切なのは、おかしいと思ったら獣医さんに相談することです。間違えていけないのは、「管理者は病気を発見することはできるけれど、治療するのは病気のプロである獣医さん」だということです。管理者ができるのは、できるだけ早く正しい情報を獣医さんに伝えることです。管理者の間違った判断が、病気を悪化させることになり兼ねないので注意しましょう。

### 山羊到着

3月23日に山羊が到着しました。今回は、熊谷先生と椎野君が一泊二日で独立行政法人家畜改良センター長野牧場まで山羊を受け取りに行ってくれました。忙しい中の強行軍だったと思います。本当にお疲れ様でした。これで畜資の山羊は、トン、ナン、シャー、ペイ、ドラ、ウラドラの計6頭になりました。長野からきた山羊たちは、人工保育で大きくなったので、人が大好き！犬のように人について歩きます。特にウラドラちゃんの上目遣いには、すでに人気が高まっています。また、即戦力として早速フ



ランシスさんの実験に使われることになっています。いいデータが取れるよう皆で応援しましょう！

### 新4回生紹介



新年度に入り、わが畜産資源学研究室にも新しく2人の新4回生が配属になりました。聞いてみたいことはたくさんありますが、それは追い追い歓迎会やお酒の場で…ということで、まずは簡単な自己紹介を紙面上でしていただくことにしました。

#### 第一弾～児嶋君の巻～

①児嶋朋貴

(こじまともき)

②6月30日

③O型



④名古屋

⑤愛知県立旭丘高校

⑥外れた肩を入れること

⑦おもしろいもの

⑧つまらないもの、カエル

⑨よくしゃべる

⑩慣れるまでに時間がかかる

⑪これからお世話になります。仲良くしてください。よろしくお祈りします。

①名前②誕生日③血液型④出身地⑤出身高校⑥特技⑦好きなもの⑧嫌いなもの⑨長所⑩短所⑪ひとつ

## 「中東に行ってきた - エジプト編 -」

わたくし椎野は3月1日から17日にかけて中東へ行って参りました。長い間、(ヤギ達がえらいことになってるにも関わらず・・・)研究室を留守にし畜資の皆さんには大変ご迷惑おかけいたしましたm(\_\_\_\_)m

ってことで、記事不足で困窮している塚原編集長のために、海外特派員として、さっそく連載を持つことになりました。怖い、テロ、コーラン、顔濃い、といった印象の中東の国々も、実はこんなにも面白く美しい地域なんだ！という事をお伝えできればこれ幸いです。

### ☆エジプトの観光



エジプトと言えばもちろんピラミッドですよね。有名なギザの三大ピラミッドの大きさには圧倒されますが、お勧めはダフシュールという街にある「赤のピラミッド」と「屈折ピラミッド」。ここは観光客が本当に少ないので、ピラミッドをファラオ気分独占、堪能できちゃいます。余は満足じゃ。あと、エジプトと言えば砂漠も忘れちゃいけません。カイロのすぐそばにも、もちろん砂漠はありますが、僕はカイロから少し離れた場所にある白砂漠と黒砂漠という場所に行ってきました。黒砂漠の黒は鉄鉱石の色で、白砂漠の白は石灰岩由来らしいです。白砂漠では膨大な砂の平野の中に真っ白で異様な形をした岩が林立している様はとても不思議かつ幻想的でした。この砂漠で僕らはカーペットを引き毛布をかぶりキャンプ(というか野宿)をし、キツネが遊びに来る中、星を見ながら寝ました。



あと、ここ数年テロが多発してる危険なシナイ半島にも足を踏み入れ・・・あのモーセが神から十戒を授かったというシナイ山にも登ってきました。朝日に照らされた岩山ばかりの無機質な眺めは、聖書に通じていない僕でも、非人間的な何か超越したものを感じたような気がしました。今まで自分に大甘でしたが、これからは少しずつ自分を戒めて生きていこうと考えております。



### ☆エジプト人

旅行サイトに、「エジプト凄くよかった♪ エジプト人さえいなかったらエジプトまた行きたいのに。」という情報が書き込まれるほど難物という噂のエジプト人。確かに皆が皆ではないですけど、日本人からしたらエジプト人はかなり難しい人たちであるのは間違いないです。まず買い物時、基本的にほとんど値札は無く、値段を聞いたらとんでもない額をふっかけてくるので、毎回交渉です。言い値の10分の1なんて普通です。勝手に写真うつりこんできてお金要求されたり、警察に突然お金を要求されることも・・・一番ひどかったのは「この水いくら？」『5ポンド(100円)だ。お前達日本人か？』『うん。』『じゃあ10ポンドだ。』というやりとり。色々苦労しました。もちろん誠実な人もいるし、明るく楽しい人もたくさんいるので、どんな人と仲良くなるかは運次第ですね・・・

### ☆食べ物

エジプト名物と言えば、間違いなくコシャリ！ご飯、ヒヨコマメ、揚げタマネギ、スパゲッティとマカロニを1センチほどに刻んだもの、これらをミックスしたものにトマトソースをぶっかけて食べる究極の混ぜご飯。一食40円から60円ほどで、お腹いっぱいです。テイクアウトもOKで人気のコシャリは行列ができます。僕らは結局コシャリを4回も食べちゃいました。激辛ソースとレモン酢を好みでトッピングするんですが、これまた美味しい。美味しいんですが、かけすぎると次の日の朝6時前に必ずお腹壊します。僕は毎回でした。あとは大体、ケバブなどの肉料理でしょうか。サンドイッチ注文して「チキン？ビーフ？」と聞かれ「ビーフ」と答えても、毎回必ず羊肉が出たのはなぜなのでしょう？向こうでは反芻動物は全てビーフなのかも。



### ☆総括

観光大国だけあって、高級ホテルや高級レストラン、クルーズ船などなど、、お金があったら楽に色々楽しめそうな施設はたくさんありますが、せつかく物価の安い国(大体日本の10分の1)。体力のある方は、自分の足で安宿を捜し歩いたり、バスの行き先を身振り手振りで聞いたり、お腹壊す危険にハラハラしながら汚い食堂に入ったり、やっぱすぐ下痢して後悔したり、、そういった貧乏旅行を楽しむのに凄く良い国だと思いますよ！

西尾さんもエリート銀行マンになって小奇麗にお金持ちになる前に行っちゃって楽しんで来てはどうでしょうか？



Department of Animal Husbandry Resources, Kyoto University, Faculty of Agriculture Oiwakekyo, Kitashirakawa, Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



畜産資源学研究室

ホームページ

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

## お知らせ

### 今月のゼミ

今年度のゼミは、毎週木曜日の午前中（2講時）になりました。一回目のゼミは、4月12日です。ゼミ系の菊原君からスケジュールが届いていますが、初回はオリエンテーションと、みんなの研究内容の紹介です。今年のゼミも活発な意見交換の場としてどんどん盛り上げていきましょう！

4月12日（木）オリエンテーション

4月19日（木）塚原・椎野（文献紹介）

4月26日（木）竹内（文献紹介）・児島（4回生演習）

### 今月のお誕生日会

今月のお誕生日さんは、新M1の竹内さん（4月22日生まれ）です。お誕生日会は、19日のゼミ後を予定しています。詳細は追ってご連絡いたします。 イベント係り

### 学会賞受賞のお祝い

広岡先生が学会賞を受賞されたお祝いの開催を予定しています。日程は、現在ネパールへ調査に出かけられている熊谷先生と田端さんが帰国してからとなります。詳細についてはまだ未定ですので、皆さんからのアイデアを募集します。なお、ぜひ全員参加で催したいと思っておりますので、就職活動その他で都合の悪い日程がある方は、お早めにイベント係までご連絡下さい。 イベント係

### 平成19年度新入院生歓迎会

4月9日（月）17：30より応用生物科学専攻の新歓コンパが旧演習林事務所、枝垂桜の庭で開催されます。翌火曜日の1講目からは、野村先生の講義がありますので、心して楽しみましょう…

### ソフトボール

今年もソフトボールの季節となりました。早速ゴールデンウィーク明けには『はくび会ソフトボール大会』が開催されます。強力バッターさっちゃんが抜けたことで懸念された戦力ダウンも、ルーキー二人の参入で免れました。皆さん、昨年の雪辱を晴らすため、練習に励みましょう！

### 編集後記

最近、研究でも使っている『Mature』という言葉が気に入っています。成熟とか円熟という意味ですが、チーズやワインの熟成や賢明・慎重という意味でも使われます。若さは武器にはなるけれど、いつか必ず失うものなのに対し、円熟さというのは歳を重ねるごとに磨きがかかって、素敵なものになります。先日、泣きたくなるようなことがあったときに、Matureな美雪さんの言葉に救われました。私もそんな素敵な大人になれるよう、自分に磨きをかけなきゃ…と思う今日この頃です(^^) ようこ

平成19年度畜産資源学研究室の係り  
新年度の『係り』が決定しました。今年度から調査や学会等で担当者が長期研究室を留守にする事態に備え、各係りの人数を増やしています。また新たに物品管理係りを設けました。各係りの仕事内容については、4月12日ゼミのオリエンテーションのときにお知らせします。

ゼミ	菊原・西尾
イベント	金島・塚原・竹内
ホームページ	西尾・菊原
はくび会	塚原・椎野
山羊	フランス・金島・竹内
物品管理	椎野

山羊実験の関係で、毎週の体重測定をいったん中止することになりました。今後も山羊たちの様子は、紙面上でお知らせします。